

各議員の氏名の左にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。



Q 公園トイレの清掃状況について



越谷市民ネットワーク **山田 裕子** 議員

問 清掃が行き届いていない公園内トイレについて、清掃回数を増やす・清掃方法を改善するなど、改善に向けた考えは。

市長 公園内トイレ清掃は、公益社団法人越谷市シルバー人材センターに業務委託し便器、床の清掃、ごみの回収などを原則週3回行っている。利用頻度が高いトイレは清掃回数を増やすなど利用者の声も反映し実施している。今後も引き続き、清潔なトイレ環境を維持できるよう努めていく。

Q 市立病院の経営健全化について



越谷刷新クラブ **松島 孝夫** 議員

問 国産初手術支援ロボット「ヒノトリ」は市が導入を見送るコストやサイズ等の課題をクリアしているが、導入する考えは。

市長 私自身が医者ではないので、日本製のもの現場に耐えられるのか判断できないが、総合的に判断し検討していきたい。
問 駅と市内の医療機関と市立病院を結ぶ無料の医療機関巡回バス導入は、地域医療連携の観点からも有効と考えるが見解は。
市長 先進事例等を含め調査研究する。

Q 農業について



自由民主党越谷市議団 **金井 直樹** 議員

問 本市の農業は、後継者不足や農地集積ができていないなどの課題がある。このような状況で、稲作から高品質な農産物をつくる農業にシフトできるのか。

市長 稲作からイチゴなどの栽培に変えることは基本的にできると思うが、資本などの問題がある。稲作農家へは物価高騰に対する支援などをしていく。後継者の育成や農地の集積をどう進めるかについても考えていきたい。

Q SNSアプリを活用した自治会活動のコミュニケーションサービスについて



公明党越谷市議団 **瀬賀 恭子** 議員

問 地域で重要な役割を果たしている自治会は深刻な担い手不足に直面し、役員の高齢化、核家族化や共働き世帯の増加等、環境が変化している。自治会の存続には運営の簡素化を図るデジタル化を進めていくことが必要であると考えているが、市の考えは。

市長 SNSなどを活用して情報共有などを行っている事例を各自治会へ紹介し、自治会連合会と連携しながら、SNS等の活用方法や他市の先進事例を調査研究する。

Q 補聴器購入助成の現状と課題について



日本共産党越谷市議団 **山田 大助** 議員

問 補聴器は購入後に「聞こえ」の調整をする必要があるが、課題の一つとして、適切に調整していない利用者が少なくないことがある。周知や費用負担などの考えは。

市長 相談や受付窓口はもちろん、販売店等にも協力をお願いし、「聞こえ」の重要性や助成制度の周知とあわせて、調整の必要性についても周知したい。聞いた限りでは1~2年の保証期間内は、調整も無料で自己負担なく行えると認識している。

Q 越谷ふるさと米の活用について



越谷市民ネットワーク **大田 ちひろ** 議員

問 JA越谷市、越谷市、生産者、NPOが連携して取り組む減農薬で化学肥料・除草剤不使用の環境にやさしい「越谷ふるさと米」の給食利用の進捗状況は。

市長 市内全18カ所の公立保育所で、12月中に5回程度、限定的に越谷ふるさと米を活用する。地域で循環する持続可能な農業の実現に向けて、今後もJA越谷市と連携、協力し、地場農産物の利用促進に取り組む。

Q 住みやすいまちづくりについて



公明党越谷市議団 **和泉田 宏幸** 議員

問 防犯灯を設置する考えは。

市長 市では、防犯灯設置の計画はないが、他自治体の取り組み事例や効果を検証し、防犯の視点を持ったまちづくりについて調査検討を進める。

問 高齢者等への買い物支援に対する考えは。

市長 地域住民の買い物支援に対するニーズの把握に努めると共に、買い物支援の効果的な手法について、調査研究していく。



市民の安心安全を見守る道路照明灯

Q 小中学校での交通安全教育について



立憲民主党越谷市議団 **小口 高寛** 議員

問 タブレット端末を使用した交通安全教育への取り組みは。

教育長 道路標識の調べ学習等や交通指導員の指導をタブレット端末で撮影し、振り返り学習をしている学校もある。自分の命は自分で守る意識の下、児童生徒が自ら危険を予測し、回避する能力が身につけるようタブレット端末等を積極的、効果的な活用について、校長会や教頭会等さまざまな機会でも周知して行く。

Q 市内全小中学校の特別教室へのエアコン設置について



自由民主党越谷市議団 **伊藤 治** 議員

問 小中学校の特別教室へのエアコン設置率は草加市が約96%、続いて吉川市、八潮市、三郷市となっている。本市は、近隣市で一番低い約55%の設置率であるが、設置率向上の考えは。

市長 近年の猛暑日の増加などにより「授業を快適に実施することが困難になっている」との声が寄せられている。特別教室のエアコン設置の方向性について今後検討を進めていく。

Q ペットの同行避難・同伴避難の考え方について



自由民主党越谷市議団 **立澤 貴明** 議員

問 他自治体では、ペットの屋内受け入れが可能な例もあるが本市の考え方は。

市長 本市としても、同伴避難の必要性については十分認識している。ペットの同伴避難の際には、飼い主にゲージを持参していただくことなど、一定のルールを改めて周知するとともに、関係団体等の意見を伺いながら屋内同室でのペットとの同伴避難について検討していく。



屋内ですらぐペット(イメージ)